

令和2年度 個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）における 新型コロナウイルス感染症に係る影響額とその活用

新型コロナウイルス感染症により、中止や延期が発生し、不用が生じた事業がありました。
一方、不用が生じた事業費を活用して、新たに新型コロナウイルス感染症対策や新しい生活様式への対応等を実施しました。

	(千円)
自主企画事業費決算額	101,339
影響額	▲ 20,082
新たな活用額	19,285

新型コロナウイルス感染症の影響があった主な事業	▲ 20,082
1. イベントや啓発事業等の中止	▲ 17,889
<ul style="list-style-type: none"> ・区民まつりの中止 ・スポーツ関連イベントの中止 ・防災・健康づくり等の各種啓発事業、子育て支援事業等の中止 等 	
2. その他	▲ 2,193
<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉保健計画策定の延期に伴う委託料・印刷製本費の減 等 	

新型コロナウイルス感染症対策等への活用	19,285
1. 感染症対策	10,813
<ul style="list-style-type: none"> ・区庁舎内における感染症対策物品の整備 ・戸籍課待合窓口混雑緩和のための呼出案内モニター設置 ・地域防災拠点への感染症対策物品の配備 等 	
2. 新しい生活様式を踏まえた環境整備	1,133
<ul style="list-style-type: none"> ・Web会議サービスライセンス料 等 	
3. コロナ禍における事業展開	7,339
<ul style="list-style-type: none"> ・イベントや講座等の代替実施 等 	

新型コロナウイルス感染症対策等への活用事例

1 感染症対策

区役所窓口にアクリルパーテーションやアルコール消毒液などを設置した他、1階区民ホールに呼び出し番号モニターを設置し、密にならないよう混雑対策を行うなど、区民が安心して来庁できる区役所を目指しました。
また、地域防災拠点への感染症対策物品の配備や、コロナ禍における避難所運営研修を実施しました。



区庁舎内における感染症対策物品の整備



戸籍課待合窓口混雑緩和のための呼出案内モニター設置(区役所1階)



地域防災拠点への感染症対策物品の配備、コロナ禍における避難所運営研修

2 新しい生活様式を踏まえた環境整備

WEB会議サービスライセンスを取得し、集音マイクやルーター、ヘッドセットなどを早期に整備し、コロナ禍においても多くの講座や会議をオンラインで開催することができました。医療と介護の連携「顔の見える場づくり会議」、区づくり推進横浜市会議員会議等、各種会議で活用しました。



区づくり推進横浜市会議員会議 (R2.6月の様子)

3 コロナ禍における事業展開

イベントや講座等の多くが中止を余儀なくされる中、ICTを活用し、新しい生活様式に合わせたコロナ禍における実施方法を柔軟に検討しました。外出自粛により身体を動かす機会が減少し重要性を増した運動・健康づくりの事業をはじめ、多くの事業を積極的に展開しました。

オンライン開催イベント・講座

↑「子育てに役立つ! シェアリングエコノミーセミナー」

↑「セカンドキャリア地域起業セミナー」

↑デジタルアートミュージアム企画展「おうちdeアート」

オンライン+会場のハイブリッド型講座

オンライン受講と区役所での視聴を選択可能とし、ハイブリッド型で開催

区役所からケアプラザ8カ所・スポーツクラブ2カ所をつなぎ、講座を生中継で実施